

南三陸の海の魅力を 仙台市民に紹介

4月17日(火)から21日(土)の5日間、南三陸町に生息する海藻や珍種の魚などを写真と水槽で展示紹介する「リアスの海の生き物たち」が、仙台市青葉区一番町の東北電力グリーンプラザで開催され、仙台市民など1,900人を超える来場者に南三陸町の海の魅力を紹介しました。

会場には約60点の水中写真と海藻おしば作品、志津川湾内に生息するダンゴウオとクチバシカジカの水槽、顕微鏡で見るウミクワガタの生物標本が展示され、来場者は南三陸のユニークな水中生物を熱心に見てまわりました。特にダンゴウオの水槽には人気が集まり、人だかりができるほどでした。

また、海藻おしば作りが体験できるコーナーでは、家族連れなど楽しみながら、思い思いの作品を作っていました。



海藻おしばを体験

志津川駅裏の 町道3路線が開通



開通を祝いテープカット

4月3日(火)、JR志津川駅裏と志津川高校などを結ぶ町道3路線の開通式が行われました。開通したのは、志津川駅北側のガードから志津川高校前に通じる「高校通線」、高校通線から県営廻館前住宅前に抜ける「廻館中線」、高校通線と中瀬町地区を結ぶ「廻館線」で、総延長は740メートル。従来あった廻館線と廻館中線は、幅員を広げて舗装したものです。

通学や生活の利便性の向上だけでなく、消防車や救急車の緊急車両のアクセス道路として、津波など災害時の避難路としても効果が期待されます。

潮干狩り

4月21日(土)、折立海岸の今年最初のアサリの開口が行われました。

この日は気温が高く、風も穏やかで絶好の潮干狩り日和。この日を待ちかねた親子連れや観光客で浜はにぎわいました。

折立海岸は、湾内の水質改善などを目的に平成13年、14年に人工干潟を造成し、アサリの開口は平成16年に一部の範囲で再開しました。

また、平成16年から海浜高度利用施設(海浜センター)でアサリの人工ふ化・育成が行われ、放流した稚貝が定着したことから、今年から全面開放となりました。

今後の開口日は本紙13ページをご覧ください。



潮干狩り客でにぎわう折立海岸

町の安全を守る 南三陸町消防団が発足

志津川消防団と歌津消防団が統合して、4月1日(日)南三陸町消防団の発足式が町総合体育館文化交流ホールを会場に行われました。

班長以上の団員が出席した式典では、佐々木善右衛門さんが初代団長に任命され、町長から新しい団旗が手渡されました。

佐々木団長は、「自分たちの町は自分たちで守る意識のもと、災害に的確に対応し、任務遂行に努めて欲しい。」と訓示を述べました。

消防団の統合は、旧両町の合併協定で、平成19年度末までに行うとしていましたが、統合への環境が整い、また宮城県沖地震など大規模災害に備えて、1年早く実現しました。

なお、統合に伴い、旧組織合計16分団を12分団に再編しました。



南三陸消防団の団旗を受け取る佐々木団長

ゴールデン ウィークを前に

4月19日(木)、神割崎キャンプ場の開村式・安全祈願祭が行われ、期間中の盛況と安全を祈願しました。

神割崎キャンプは、オートキャンプサイト、フリーサイト、ログキャビンなど整備され、太平洋が望める風光明媚な施設として人気を集めています。

利用期間は4月から11月まで。キャンプ場の利用予約は、神割観光プラザ(☎46-9221)へ。



キャンプ場の盛況と安全を祈願

車に注意しながら横断歩道を渡る子どもたち



車に気をつけて 歩こうね

新年度が始まり、町内の各学校では交通安全教室が行われました。

このうち伊里前小学校では4月12日(木)、1~3年生が商店街で歩行訓練を行い、通学時などにおける横断歩道の正しい渡り方などを学びました。

また、4~6年生が自転車で伊里前地区を実際に走り、事故防止と安全な乗り方について学びました。